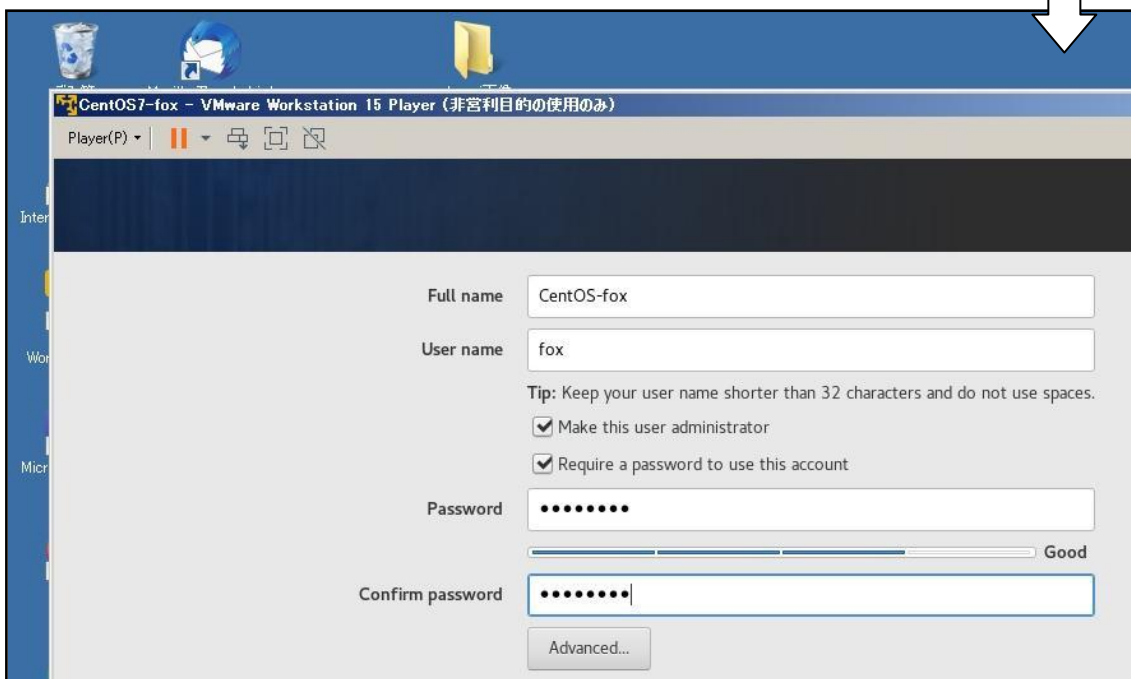
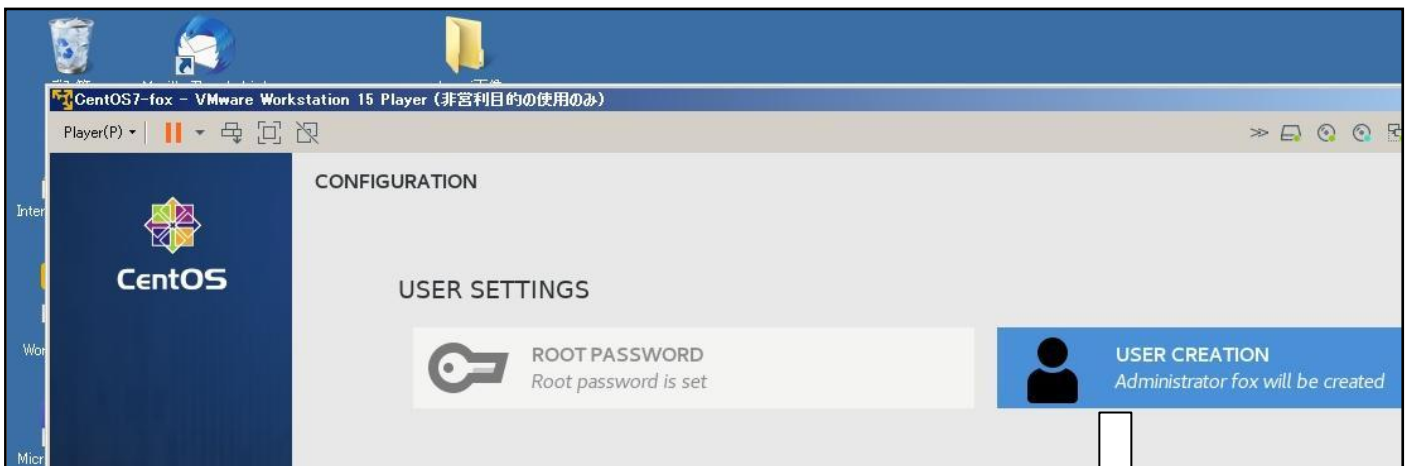




第10話 (仮想マシンの構築II)



さあ！CentOS7のインストール開始だ。ただお馴染みの定番の内容だから、詳細については、ネットで検索してくださいね。以下の画面のOSのインストール中にやらなければならないことがあるよ。**管理ユーザの設定**だよ。パスワードはタヌキ自身が考えれば良いけども、オイラはRootと同じにしている。OSのインストールには時間がかかるので、急ぐ必要はないけれども、じっと画面を眺めていてはダメだよ。左のRootのパスワード設定は終わっているので、クリックしても反応しないよ。入力を終わったら左上の[Done] (完了) ボタンをクリックするのだ。





次は CentOS7 の各種設定だ。ただお馴染みの定番の内容だから、詳細については、ネットで検索してくださいね。ここで、必ず設定しなければならない項目は、[DATE & TIME]、日本語の方が良いだろうから [LANGUAGE SUPPORT]、[SOFTWARE SELECTION]、の3項目だ。後はデフォルト（規定値）でも問題は無いぞ。必要に応じて後からでも設定が可能だ。ちなみに、[INSTALLATION SOURCE] はインストールに使う CentOS7 の格納フォルダの指定だ。これは既に指定済みだ。[INSTALLATION DESTINATION] は、インストールする HDD のパーティションの作成方法だ。最初は自動で良いぞ。[NETWORK] は DHCP で自動的に接続されるからこのままで OK。

CentOS7-fox - VMware Workstation 15 Player (非営利目的の使用のみ)

INSTALLATION SUMMARY

LOCALIZATION

- DATE & TIME: Asia/Tokyo timezone
- LANGUAGE SUPPORT: English (United States), 日本語 (日本)
- KEYBOARD: Japanese, Japanese (Kana 86)

SOFTWARE

- INSTALLATION SOURCE: Local media
- SOFTWARE SELECTION: GNOME Desktop

SYSTEM

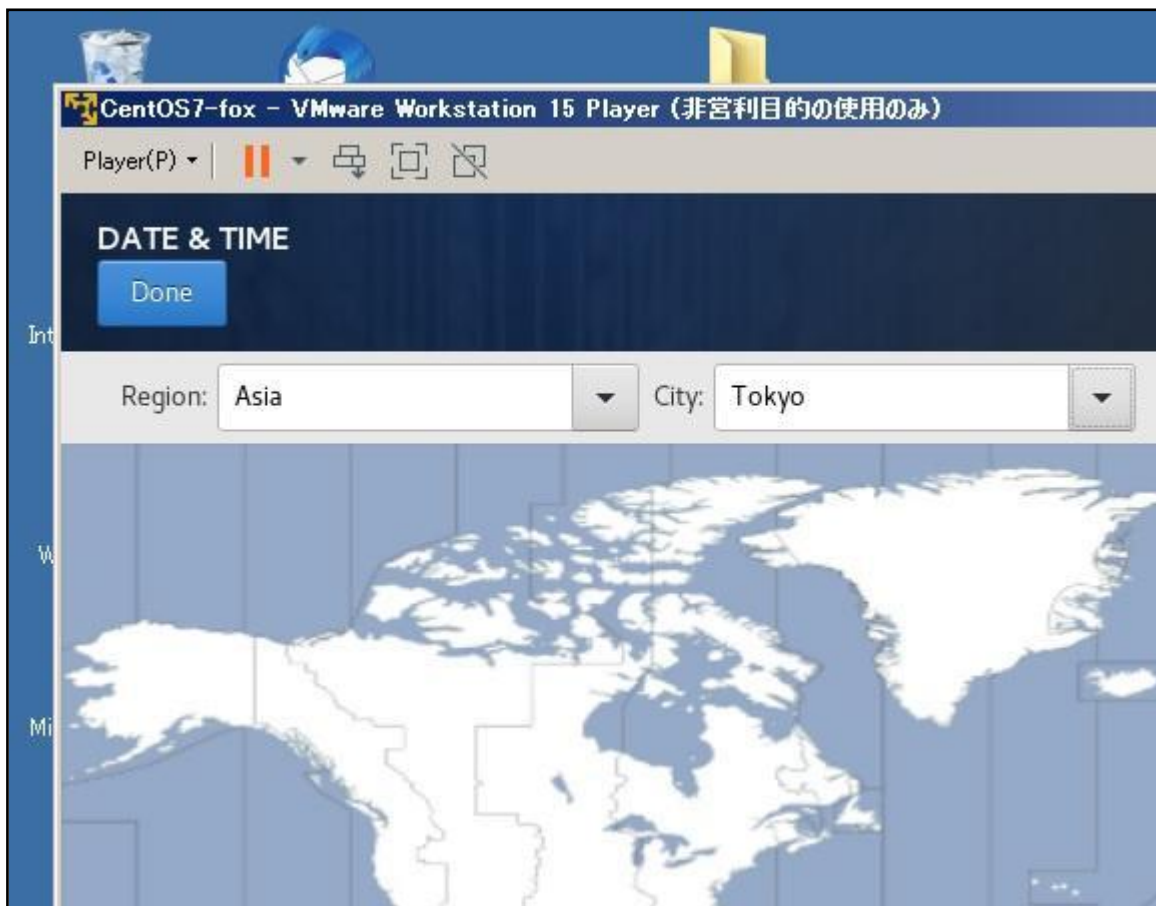
- INSTALLATION DESTINATION: Custom partitioning selected
- NETWORK & HOST NAME: Wired (ens33) connected
- KDUMP: Kdump is enabled
- SECURITY POLICY: No profile selected



キツネ！これで終わりじゃないだろうな。
後は自分で調べなさいは、ご免だぜ！



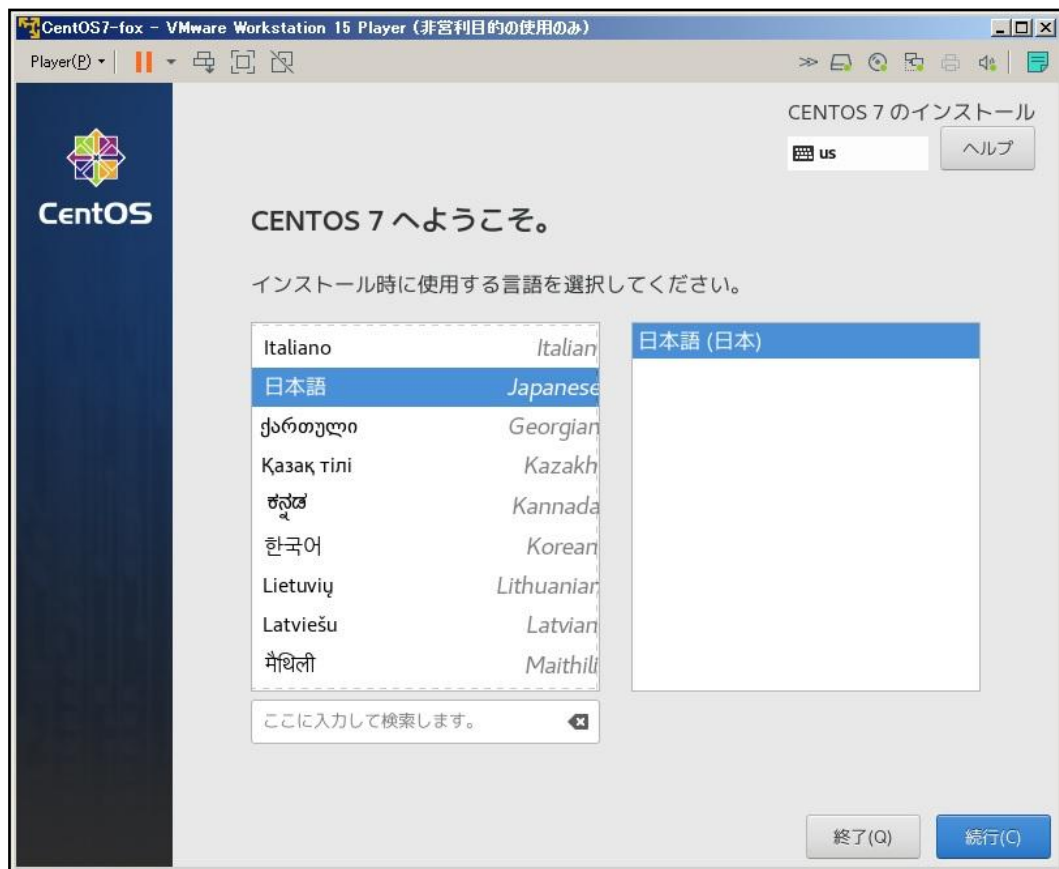
そうか。そのつもりだったが、ダメか。
じゃ、大切な3項目については図解するか。
まずは、[DATE&TIME]だ。これは設定しなければならないよ、というだけで設定は Asia・Tokyo とするだけで、簡単だ。
設定が終わったら [Done] (完了) をクリックし、前に戻るのだ。この時点では、日本語化されていないので、全て英語表示になっているよ。





次は、[LANGUAGE SUPPORT] の設定だ。以下のような画面から [続行] で、全て日本語を選択していきます。

ただ、注意してほしいのは、これを終了しても画面表示が英語から日本語表示に変わるだけで、日本語入力ができるわけでは無いんだ。日本語入力を可能にするためには、入力をサポートするプログラム（昔はヘップと言ったのだが）をインストールしなければならないんだ。インストールする方法についてはネットで [CentOS7 日本語入力 インストール] と入力し、検索してみて。



キツネ！日本語が入力できないのに [日本語入力 インストール] という入力はできないだろう。オイラを化かしているな。

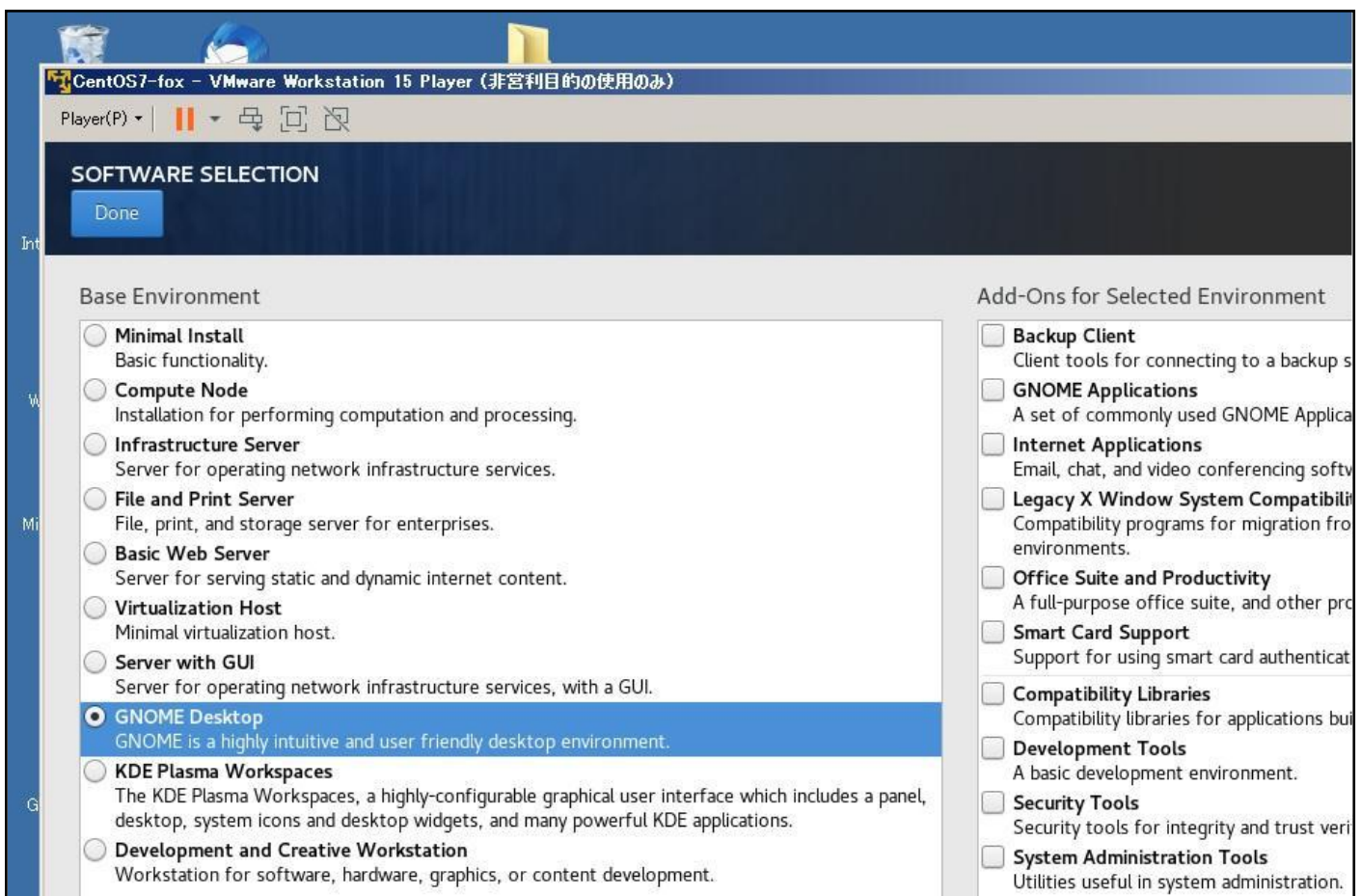


ごめん、ごめん！化かすつもりは無いよ。そうだよ、ね矛盾してるよね。[Ctrl + Alt] を押して Windows 側のブラウザで検索してよ。それとも [Japanese install] に変更かな。



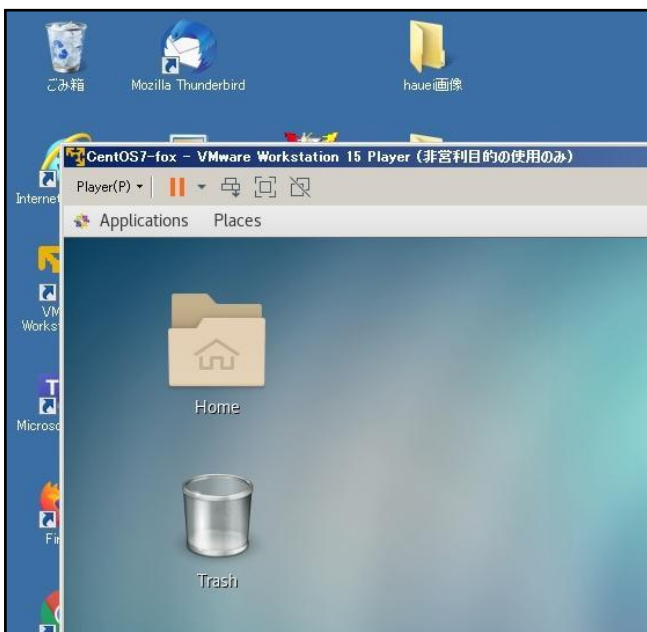
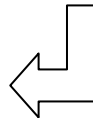
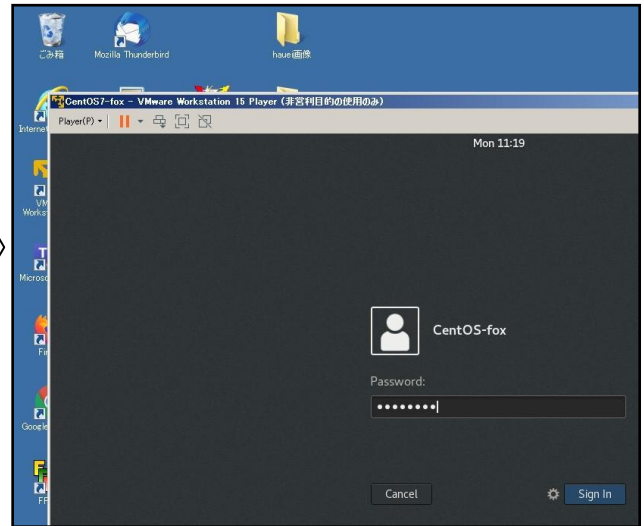
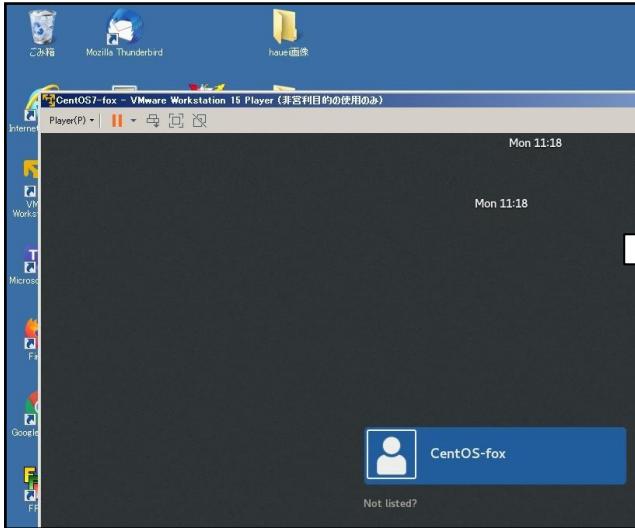
次の [SOFTWARE SELECTION] は重要だが、必ず設定してね。これを設定し忘れると起動した時に CUI (コンソール・ユーザ・インタフェース) 画面になり、全てコマンドで操作しなければならなくなるよ。当然、CUI から Xwindow を起動し、GUI (グラフィカル・ユーザ・インタフェース) にすることもできるが、コマンドで切り替えなければならないので面倒だよ。切り替えのコマンドはネットで検索してね。

GUI 画面で起動する為に、必ず [GNOME Desktop] を選択してね。





設定が終わると、自動的に CentOS7 が起動されるぞ。
設定したユーザ名をクリックするとパスワードを聞いてくる
ので、入力してログインだ。
ログインしたら、最初にユーザのホームディレクトリとゴミ
箱が表示されるよ。



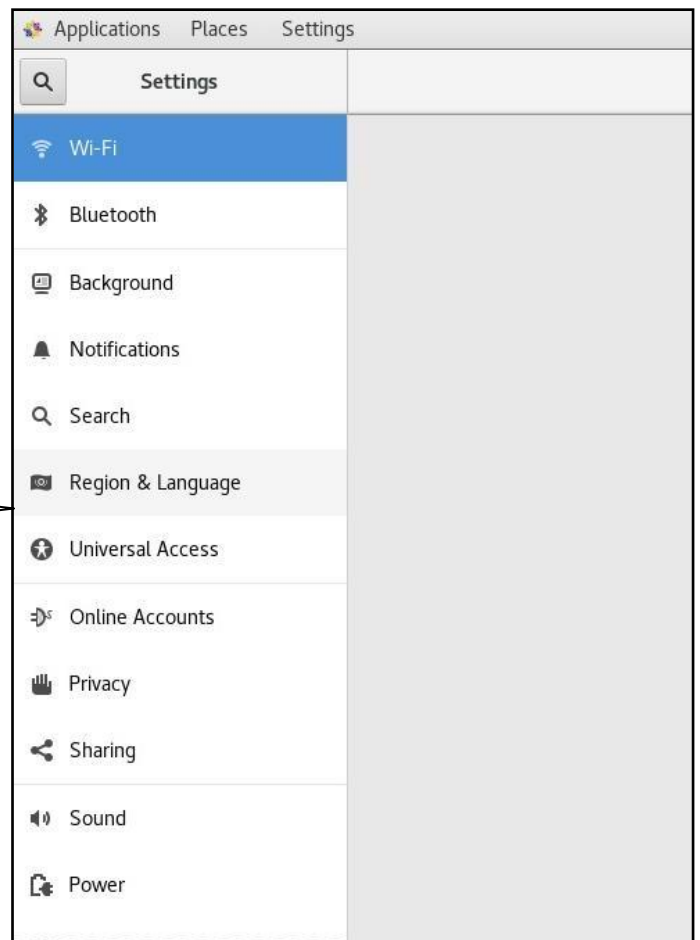
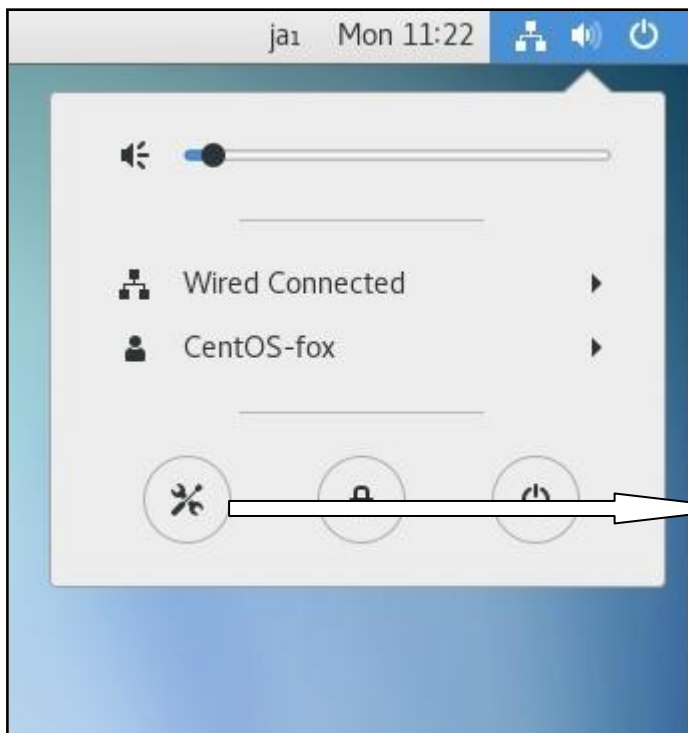
キツネ、日本語設定した
のに、左のように英語表
示になっているぞ！



ごめん、ごめん！このように設定しても日本語表
示にならない場合もあるのだ。それで、起動後の
設定の仕方を取り上げておくよ。



画面の右上の電源アイコンを右クリックすると設定のメニューが表示される。右下のアイコンをクリックすると再起動やシャットダウンのメニューが表示され、真中のアイコンはロックです。今回使うのは、左下の設定アイコンです。これを右クリックしますと次のようなメニューが表示されます。この段階でも英語表示ですね。[Region & Language] で日本語表示の設定をします。他にもネットワークの設定、時間設定など殆どのできるできるので、一通りチェックすると良いよ。





おう、日本語表示になった。なんとなく楽しいね！
でも、これでは日本語入力はできないんだよね。いろいろと面倒なんだね。



そうなんだ、Windows の OS に馴れていると面倒に感じると思うよ。でも、Windows に無い利点も多いのさ。
例えば、Windows の場合は、ボタンをクリックして設定した内容は、ファイルを開いて見ることができないけれども、Linux は設定ファイルを開いて見ることができるし、直接編集することもできるのだ。これは、非常に勉強になるのさ。
じゃ、最後に標準でインストールされている Firefox というブラウザを開いてみようか。ネットワークは DHCP で自動配信されているから、直ぐにインターネットに繋がると思うよ。使えるアプリは、左上のアプリケーションをクリックすると表示されるからね。





DHCP って何だ！



DHCP は使用していない IP アドレスを自動的に発行するサーバのことなんだ。スマホでも使われているよ。また、キャリアが WI-FI 用に送ってくるルータの初期設定は DHCP 使用になっているよ。これ以上は、自分で検索して調べてね。次は、仮想マシンで最も面白く便利なクローンもどきの作成の実践をするね。

第 1 1 話は CentOS7 のクローン作成。